

第604号 2025年3月号

組織現勢 2750人

東京土建一般労働組合
府中国立支部教宣部
発行者 きたたま編集委員会
事務所 府中市晴見町 2-15-5
電話 042-363-6554(代)
FAX 042-363-6847

【特集】

第79回支部定期大会 議案ダイジェスト・告示など



第79回支部大会議案ダイジェスト

2024年度の運動の経過

建設業の未来を築く若者が、誇りと自信を持って働くことができる社会の実現に向け、全世代の仲間の団結で組織拡大・組織確立を進め、要求実現のための運動の前進を勝ち取ろう！

私たちをとりまく情勢

24年度上半期の新設住宅着工戸数は、前年同期比0.8%減の41万2131戸となり、減少となりました。利用関係別では、持家が11万3081戸(5.0%減)、分譲住宅が11万3848戸(2.7%減)と減少となり、貸家が18万1524戸(2.7%増)と増加しています。公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターは10月25日、23年の住宅リフォーム市場規模の推計を公表しました。増築・改築工事費及び設備等の修繕維持費を合計した住宅リフォームの市場規模は、前年比2.1%増の7兆100億円と、初めて7兆円を超え、

5年連続で増加しました。第3次担い手3法は建設業法及び入契法(契約の適正化の促進及び公共工事の入札に関する法律)、品確法(公共工事の品質確保に関する法律)を束ねた法律で24年6月に第3次改正法が成立しました。この法案は東京土建が進めてきた建設産業の担い手を確保するための賃金引上げ、長時間労働の是正などをめざす運動を後押しするもので法案の成立のために23年11月から24年5月まで半年以上をかけて100万人国会請願署名を取り組んできました。総務省が24年1月31日に発表した労働力調査(23年平均)による

と、建設業の就業者数は前年から4万人増の483万人となりました。そのうち技能労働者は2万人増の304万人と、6年ぶりに増加となりました。建設業就業者のうち29歳以下の人数は56万人(11.7%)で前年と同数。また、55歳以上は177万人(36.6%)で同5万人増(0.7%増)となりました。ミドル世代の空洞化と全体としての高齢化をうかがわせる結果です。

厚生労働省公表した賃金構造基本統計調査では建設業の労働者の年収は567万円(前年より33万6000円、6.3%増)となりました。全産業労働者の平均

の国の責任で期間外従事者と屋外工への責任を認めさせる事を求め展開しました。設計労働単価は前年比で5.9%の伸びとなっていますが、実質賃金は減り続けており、日々の暮らしを圧迫しています。賃金調査や賃金協議の取組みで仲間の声や実態を集めました。府中市の公契約条例制定に向けて建設ユニオン東多摩支部と協議を行い、2024年8月1日を設立日として『全建総連東京都連府中地区協議会』を結成、その在り方等検討委員会では、工事部門の労働者団体を代表し、参加しています。

506万9000円との比較では11.2%高い結果となっています。しかし建設業、技能労働者男性でみると平均は480万2000円(前年6.4%増)となり、平均を大きく下回り職種により差が出ています。岸田内閣は24年6月21日、「経済財政運営と改革の基本方針2024」(骨太の方針)を閣議決定。23年12月に決定した「改革工程」(全世代型社会保障構築を目指す改革の道筋)を「着実に推進する」と強調、社会保障削減と国民負担増を進める政策の強化を示しました。

府中市政について 府中市国民健康保険運営協議会では、今後18年かけて市財政から国保財政への繰入金解消を目指し、国保料の2年ごとの値上げが決定されるとともに、国保料の均等割の継続が表明されました。市議会議員選挙は2023年4月に実施され、任期折り返しとなりましたが、すでに2名が辞職し、30名から28名の構成となり、以下の会派構成となりました。市政会7名、市民フォーラム5名、公明府中5名、自由クラブ4名、維新1名、共産2名、生活者ネット1名、無所属1名、れいわ1名、無所属府中1名。

以前のよう「自・公」で過半数という構成でないこと、議長副議長や常任委員長などのポストに与野党が入り乱れていること、採決について会派内で賛否が分かれるなど異例の事態が続いています。12月に実施された市長選挙では新人の浜崎真也氏が当選しました。選挙中より浜崎氏は、保育料入園料の引き下げ、既存店舗の経営支援、学生・若者の企業開業支援、地域循環経済の確立で税収増加と住民サービスの向上などを挙げる一方で、財源不足に直面している市財政については社会保障料の負担増も検討と主張するなど、市議会での予決算の際の議論は与野党に関わらず厳しい注視が必要となります。

(日吉 山田奈緒美)

府中国立支部は、春一番の運動、春の大運動、組織確立特別期間、秋の大運動、年末組織強化期間という5つの節を基本方針として活動し、旺盛に運動を構築しました。歴史的な物価高や実質賃金の低下で、仕事や暮らしの厳しさが増す中、地域分会や各会が運動や活動を積極的に展開しました。

2025年1月1日現勢は2793人と、昨年比14人減という結果となりました。春秋の月間目標や、年間13%目標について、全分会が達成したことは大きな成果と言えます。その結果、月間を通して全都会を牽引し続けながら、「本・支部目標達成」「全分会目標達成」という快挙を成し遂げました。組織強化については、分会内事業所対策、若手後継者世代の発掘・育成の面で、全都でも先進的な到達点を築いています。

建設アスベスト訴訟は建材メーカーに対して原告と向き合い和解に応じさせ、国に対しては最高裁判決で

第47回住宅デーは春に全分会で開催されました。秋は鶴代分会が開催しました。10月に開催された「どけんまつり」は昨年同規模の4500人の来場者が訪れ、地域一大イベントとして大成功を収めました。まちの救助隊「FKレスキュー」では、災害時に動ける組織が

構築されています。安全衛生活動では、一人親方対策として安全衛生大会や現場調査やアンケートに積極的に取り組みました。マイナンバーカードと健康保険証の一元化による、東京土建の組織への多大な悪影響を懸念し、継続して運動を展開しています。

税金対策に関わる運動では、インボイス制度の中止への運動を展開しつつ、駅頭宣伝や組合員向けの学習活動にも取り組みました。平和の運動では署名について、全都を牽引する目標達成率となり、各種集会にも積極的に参加しています。(産業対策・社保・平和)

2月15日に開幕したJリーグ。今年も我がFC東京は旋風を巻き起こすこと間違いなしです。昨年大活躍し、パリ五輪代表にも選ばれた荒木が契約期間満了で鹿島に戻ってしまいました。ゴールとチーム得点主となったマルセロ・ヒアン、また、荒木と同じくパリ五輪で活躍した佐藤恵允、など前線の選手豊富に獲得し、惜しまれながら引退したデイエゴ・オリヴェイラの穴を感じさせない布陣となりました。

開幕戦は快足ウィングの白井が得点して横浜FC戦1対0で勝利、2節目の町田ゼルビアとは0対1で敗戦、ミッドウィックに行われた名古屋グランパス戦は3対1で勝利と現在波に乗っています。

道具箱

宮澤 和也
小笠原 秀

- ▼全ての仲間が加入する助け合いの共済制度の推進
- ▼組織拡大目標は年間13%の拡大率と1%の実増に全力
- ▼たたかって学び、学んでたたかう教育宣伝、学習活動を行う
- ▼後継者世代の結集・定着・育成を重点課題とした後継者部の活動をさらに活発に
- ▼将来の東京土建を担う人材を育成する青年部活動を盛り上げよう
- ▼府中労連、府中社保協との連携で地域運動をさらに強化する
- ▼憲法改悪阻止、原水爆禁止、脱原発など憲法・平和を守る運動の前進
- ▼執行委員学習会、分会群役員学習会で学習を深め役員の団結を育む
- ▼府中こどもまつり&大住宅デーどけんまつりを開催し、大成功させる
- ▼後継者部が主催する子ども食堂をさらに活発に
- ▼支部分会とともに組織を支える強固な財政活動を実践する
- ▼2025年度の支部旗開き、支部定期大会の開催計画
- ▼支部結成80周年記念事業の準備
- ▼支部会館周辺の用地取得など

【2025年度運動の重点】

2021年度から引き続き、東京土建7つの運動課題を指標としながら、各専門部での議論と提案を発展させ、2025年度の運動方針と展望を持った行動提起を行なっていきます。

以下は各専門部の主な運動の重点を要約したものです。

- ▼公契約条例の制定にむけ、議会・自治体対策をさらに強化する
- ▼賃金運動による請求・要求運動を前進させる
- ▼第48回住宅デーを仲間の団結で成功させる
- ▼すまいの相談室、FKレスキューなど地域活動を推進する
- ▼CCUS(建設キャリアアップシステム)の普及と推進
- ▼建設アスベスト訴訟に関する取り組みをさらに発展させる
- ▼東京土建国保を守り育てるとともに社会保障拡充の運動を強く大きく

【仕事対策部】

地域貢献活動を通じて地域の信頼を勝ち取り、職域確保の運動を前進させよう

- ▼大手資本やハウスメーカーなどの町場への進出による地場の職人と地域住民との関係が疎遠となる中で点検商法の被害者が年々増加している。
- ▼東京土建は地域の建設職人として誇りを持ち、住宅デーやどけんまつりの住宅相談コーナーを設け、相談活動を行ってきた。
- ▼第47回住宅デーは住宅相談・防災減災企画の他、小中学生を対象にした木工教室を「建設人材育成助成金」を活用し、〇〇〇名が受講。総勢〇〇〇〇人が来場した。▼府中こどもまつり&大住宅デー「どけんまつり」は4500人の来場者を迎えて大成功
- ▼地域コミュニティと共に地域を盛り上げ、住みやすい地域・過ごしやすい地域を創るための職域確保運動を進める

【賃金対策部】

公契約条例、パートナーシップ協約の取組みを進め、魅力ある建設産業をつくと共に、新・担い手3法を力に請求・要求運動を広げ、賃金引き上げを勝ち取ろう！

- ▼建設就業者数は1997年以降減少傾向が続き、今や55歳未満の高齢者は全体の3分の1以上を占め、高齢化が進み、賃金情勢では多くの企業が賃上げをする状況で建設労働者の賃金水準は「微減」という実質的に賃下げ
- ▼若手担い手不足が深刻な建設業界において、賃金単価引上げや労働環境の改善は急務。賃金の引き上げは待ったなし
- ▼新・担い手3法を力に請求・要求運動を広げ、賃金引き上げを勝ち取っていきましょう。

【労働対策部】

仲間の安全衛生対策をすすめ、建設アスベスト被害の全面解決・救済を勝ち取り、被害者にも加害者にもならない対策を強化しよう！

- ▼首都圏建設アスベスト訴訟は建材メーカーの争う姿勢を変わりませんが、2024年12月の東京差戻審で建材メーカー12社の内7社の責任が認められ、和解金を支払い命令が下されました。多数の建材メーカー責任が認められる判決から建材メーカーとの解決は少しずつ進んで来ています。
- ▼2024年4月1日より働き方改革が建設業にも適用されました。建設業は納期が短い為、残業の上限時間、有休日の取得、残業代の支払い等、多くの問題を抱えています。労働対策部は、建設業に係る建設労働者が安心して働ける職場を作り、守ることに全力で努めます。

【技術対策部】

CCUS対策の推進をおこない、技術技能のレベルアップと資格取得によるスキルアップ、まちの救助隊活動の前進で、地域から信頼される技能者集団へ

- ▼CCUSの登録者数は、技能者が15万人、事業者が3万2千社となり、東京土建全体では技能者登録1万5千人(約25%)、事業者登録は4700者、レベル判定では291人と技能者登録の約1.5%に留まり、就労履歴の蓄積も進んでいない状況です。
- ▼法改正に応じた資格講習や、青年層に必要な特別教育やCCUSのレベル判定に必要な職長・安全衛生責任者教育(RA含む)や組合員から要求のあった講習会の開催を進め、地域住民、地域諸団体、自治体、住民支援を行なう福祉関係者など、地域社会を構成する様々な人たちとの事前の連携関係づくりを進めます。

【社会保障対策部】

健康保険証交付存続！建設国保育成強化で補助金現行水準確保を勝ち取り、憲法25条に基づく社会保障制度の拡充を！

- ▼健康保険証の新規発行が2024年12月2日に終了し、6月には子ども子育て支援法が可決成立し、私たちの健康保険料に上乗せする形で新たな「支援金」が徴収され、75歳以上の窓口負担3割の対象範囲拡大が触れられ、1月に厚労省が示した高額療養費の上限引き上げは低所得者層や生活が困難な社会的弱者にさらに負担を求めるものです。これらの施策は国民目線の政治とは大きくかけ離れたものばかりです。
- ▼2024年度の運動の到達と教訓を踏まえ、2025年度も憲法25条が保障する社会保障制度の確立を目指し、社会保障制度拡充、建設国保育成強化と補助金現行水準確保、保健対策推進などさらなる運動の前進を目指します。

【税金対策部】

健仲間のくらしと仕事を守るため、消費税率引き下げとインボイス制度廃止、軍事力拡大による大增税を許さず、民主的な税制と税務行政を勝ち取ろう！

- ▼2025年度の政府予算案の特徴として、社会保障関係費は38兆2778億円と過去最高となりましたが、国民負担増により1300億円程度を圧縮しています。防衛予算は初の8兆円超えとなる8兆7005億円となり、11年連続で過去最大を更新しました。
- ▼今後も防衛力強化のための財源確保として防衛特別法人税の導入、たばこ税の引き上げ、ガソリン税の暫定税率廃止など税負担増が次々と行われます。
- ▼2025年度は、消費税率引き下げ、インボイス制度廃止、軍事増税阻止を運動の柱として取組み、駅頭宣伝や署名・学習を旺盛に取り組みていきます。



一人親向け安全衛生大会



秋の予算要求集会 銀座パレード



6月住宅デー 木工教室には長蛇の列



現場賃金行動 懇談に臨む宮澤委員長

【組織部】

互いを尊重し、認め合う団結力で、安定した2800人の組織を作ろう！

- ▼厚生労働省の2024年労働組合基礎調査では全国の労働組合員数は991万2千人となり、推定組織率は16.1%で、前年より0.2ポイント低下しました。世界各国とともに組織率の低下が顕著になっています。
- ▼2024年、東京土建全体で組織が減少傾向にある中、府中国立支部では「安定した2800人組織」を提起し、拡大率13%を達成し、多くの新規加入者を迎えました。脱退が新加入者を上回り、2800人に一歩及びませんでした。
- ▼2025年は改めて「安定した2800人組織」を掲げ、「仲間を育て新たな仲間を増やしていく組織」「明るく元気に運動が出来る組織」をさらに確立させ、支部一丸となって1%実増に向けて挑戦し続けて行こうではありませんか！

【厚生文化部】

分会の力で共済推進を強め、仲間へ優位性を広げて、自主共済を発展させ、全世代の仲間の参加が結集できる文化・レクリエーション活動をすすめよう

- ▼2024年は自然災害多発と建設費の高騰の影響で、保険業界では保険料の値上げが相次いでいます。物価高による家計の見直しを迫られる中で、火災地震共済の優位性を訴えて、厚生文化部員と共済推進委員を中心に推進活動を進めていきました。
- ▼文化・レクリエーションの活動の中でも観劇や支部独自のレクリエーションに取り組み、新しい参加者をどうしたら増やせるのかを意識してきました。2025年度はさらに仲間の助け合い制度や文化・レクリエーション活動を多くの仲間に語り、制度利用を広め厚生文化活動を前進させていきたいと思います。

【青年部】

若手が期待をもって仕事に取り組み建設業界にしよう

- ▼2024年度の活動では、私たち青年部という若い職人が中学生に仕事を見せることによって建設業に就業を希望する子どもたちが増えれば、という願いで職場体験を実施し、将来の産業を考えた運動を進めました。また、青年世代の働き方の多様化から、SNSや群会議、分会訪問イベント動画の作成、個別封筒の配布など、多くの手段を用いて未結集の仲間への結集を求めました。
- ▼私たちが従事する建設業界は労働者の減少・高齢化が進み、担い手確保に一刻の猶予が無い状態の中で私たち青年部は、仲間づくり運動に取り組み、東京土建の運動を現場の仲間に伝えるなど、輪を広げる活動を行いました。
- ▼2025年度は要求を実現するための仲間を集め、若手建設職人の要求実現に向けて運動を推し進めます。

【後継者部】

若年層の要求を集めた運動で、後継者世代が活躍できる、明るく希望の持てる建設産業へ

- ▼2024年度は、ピザ作り&BBQ体験、秋の大規模バスレク、冬のグランピング1泊レクなどを企画し、後継者世代の仲間とその家族も含めて多くの参加がありました。また後継者部の活動のプラットフォームとして「子ども食堂」を位置付け、2024年度も毎月第4土曜日に支部会館で定期的に開催し、活動は止まらない物価高の中、子育て世代家庭の生活の一助になり、子どもたちの地域コミュニティとしての機能など、広く地域に貢献する活動となっています。
- ▼これまで行ってきた「仲間づくり」「財政活動」「建設労働運動」を、後継者部では同世代の仲間達と後継者部の活動の中で学び、経験します。後継者部は2025年度も「支部、分会、群」「建設産業」そして「建設労働運動」の現在および将来にわたる担い手づくりを見据えた活動を展開します。

【平和・憲法】

憲法9条を守り、戦争をしない、させない国づくりから恒久の平和を！

- ▼世界情勢としてイスラエルとイスラム組織ハマスが1月15日、停戦と人質の解放に合意しました。平和に一歩近づいたように見えますが、イスラエル軍がいつどのように撤退するのか、停戦がきちんと守られるのかも不明です。さらに、ロシアとウクライナの戦闘も未だに続いており、世界は混迷しています。
- ▼そうしたなかで憲法9条を守る運動を象徴する「9条の碑府中」が5月7日、府中市南町に建立されました。
- ▼東京土建そして建設労働者は「平和だからこそ家が建つ」を合言葉に、積極的に平和運動に取り組みできました。2025年度も脱原発、憲法9条改憲、米軍のオスプレイ配備や基地問題、原水爆禁止等さまざまな問題を解決する為、運動に取り組みます。

【教育宣伝部】

仲間の声を運動に生かし、組合の取り組みと諸運動を伝える教育宣伝活動を展開しよう

- ▼新聞・テレビがオールドメディアと呼ばれ、既得権益の代弁者などとさげすむ風潮のなかで、玉石混合のSNSが文字通り目に見える形で実社会を動かしつつあります。真実が見えにくい、届きにくい中で、顔の見える関係を基本とした組合の活発な教宣活動がこれまで以上に求められます。仕事とくらしを守るために、情報発信の意識を高めていくことが重要です。私たち教育宣伝部はこれまでも組合から人間らしい社会の再構築を提起し、労働組合の力を最大化する「連帯」「団結」を強める内容を提供してきました。
- ▼毎月届ける機関紙で、一つの記事、一つの見出しに思いを込めて、組合員との信頼関係を地道に築いていきます。おもしろくてためになる紙面で組合イメージを底上げするような教宣活動を目指します。

【主婦の会】

- ▼毎月の機関会議では仲間づくり月間への協力や分会主婦の会の活性化に向けた協力、役員登用などを議論してきました。支部行事への参加や行事に関わる細かな作業、年間を通じた建デポ前宣伝への参加など様々な活動に取り組みました。分会役員と協力を仰ぎ、分会主婦の会確立を目指しました。
- ▼2025年度も組合の仲間づくりとともに、主婦の会の会員拡大と組織強化のために奮闘します

【シニア友の会】

- ▼2024年度は仲間づくり月間ではシニア友の会の会員拡大を行い、歩こう会やバスハイクなどで仲間の団結と交流を深めた他、7月からは府中9条の会の毎月定例宣伝に参加し、憲法・平和を守り広める運動にも新たに取り組みました。
- ▼2025年も仲間の輪を広げ、強く大きく楽しいシニア友の会を目指します。

【財政部】

明確で安定した財政活動で、仲間に寄り添い、運動を支えよう！

- ▼東京土建の財政の役割は、組合運動の内容を財政面から組合員に対し絶えず明確に示すことです。財政は組織を支える柱であり、あらゆる活動について財政の裏打ちが必要です。
- ▼組合の諸要求運動を進める上で、財政基盤確立と健全化は不可欠であり、収入の大多数を占める「組合費」の納入は重要です組合財政は、組合員が自ら支払う組合費によって成り立ち、組合費は活動の成果や組合員サービスなどを通じて還元されます。
- ▼2025年度は、引き続き財政運用にあたっては創意と工夫をこらしつつ、合理的で効果的な支出配分に努めると同時に、目的別積立金や引当金の充実を図っていきます。



教宣部「2025年度もやったるで！」



府中6中職場体験で青年部奮闘！



「子ども食堂」は3年目に突入



どけんまつりには4500人の来場者

猛アピール！ 賃金単価引き上げ！

三多摩春闘総決起集会

in 宮路楽器ホール

2月20日、小金井市の宮路楽器ホールにおいて。2025年三多摩春闘共闘の集会所が開かれ、総勢約350人が参加、支部からは宮澤執行委員長を先頭に17名が参加しました。

今年の三多摩春闘のスローガンは「動けば変わる声を上げよう！ あなたの想いを」として、各団体からのアピール、争議を闘っている労働組合の発言などに、春闘を闘う決意を口々に語りました。東京土建の三多摩各支部が壇上で「拒い手3法改正を力に請求・要求で賃金単価の大幅引き上げを勝ちとろう！」とア



ピール。三多摩春闘共闘ではSNSなどのハッシュタグ『#動けば変わる』をつけて、賃金闘争など様々な労働運動を発信しようという行動提起がありました。

農高園芸部・果樹部が子ども食堂に野菜を提供

都立農業高校と強力タッグ結成



都立農業高校園芸部&果樹部の皆さん

毎月第4土曜日に定期開催している「どげん子ども食堂」が府中市寿町の東京都立農業高校と強力タッグを結成しました。

近年、農業高校では府中けやき並木保護更新プロジェクトや小金井市と連携して玉川上水のヤマザクラ並木の保護など地域への貢献活動が活発に行っています。

2月のある日、支部に農業高校より「東京土建で子ども食堂を行っていること



子ども食堂当日も大活躍の農高生

を聞いて、果樹部と園芸部で作った野菜をぜひ提供したい」との連絡があり、話ほとんどん拍子に進み、2月20日、農業高校果樹部と園芸部のメンバーが山のようなサニーレタス、レモン、パセリ、トマトを支部に持ってきてくれました。

さて子ども食堂当日は件の農高生の手伝いもあり、「ツナとレタスの塩昆布サラダ」「パセリとコンソメのポテトフライ」「鶏のから揚げ」などで197名が参加し、大盛況となりました。

2025年度国保料決定

2025年度の東京土建国保料が決定し、3月納入の4月分より新年度保険料が適用されます。

ことによるものです。その一方でハガキ要請行動をはじめとする補助金確保の運動は発展し、国・都

費補助金は現行水準を確保できませんでした。2025年も力を合わせて土建国保をさらに強く大きくしましょう！

2025年度保険料 (単位:円)

区分	都内保険料	都外保険料	
組合員	法人A種	39,550	41,850
	法人B種	35,850	38,150
	法人C種	31,650	33,950
	第1種	33,450	35,750
	第2種	27,250	29,550
	第3種	22,250	22,550
	第4種	20,250	24,550
家族	第5種	16,150	18,450
	第6種	12,150	13,350
	第7種	9,350	10,550
	成人男性	12,100	一般 4,600
	高校生相当	3,800	中学生相当 3,800
	小学生相当	3,000	幼児 1,800 乳児 1,800
	※介護保険料は4,200円 家族の賦課対象は4人まで		

労働保険年度更新のお知らせ (完全予約制)

労働保険(労災保険・雇用保険)の年度更新を以下の日程で行ないます。完全予約制です。お電話でご予約下さい。

一人親方労災 ※1時間で15名定員。

3月26日(水)、27日(木)、28日(金)、31日(月)

【午前の部】 10・11時

【午後の部】 13・14・15時

【夜間の部】 18・19時・20時 ※3月31日(月)のみ

事業所労災・雇用保険 ※1時間で9名定員。

4月14日(月)、15日(火)、16日(水)、17日(木)、22日(火)

【午前の部】 10・11時

【午後の部】 13・14・15時

【夜間の部】 18・19・20時 ※22日(火)のみ

田舎自慢

第48回・福岡県福岡市

(おらがふるさと)



私の父の故郷を紹介します。私の父の故郷は福岡県福岡市です。若い頃は飯塚市からバイクを飛ばして福岡市内まで遊びに来ていたようで、飯塚より福岡市内の楽しみ方を知っている父でした。父は季節ごとの帰省を喜びにしているようですし、私と母は福岡周辺の観光が楽しみです。

福岡市中央区にある福岡城は黒田官兵衛が筑前に移ってきたときに建てた城。元々は福岡というところに



り、人工ではありませんが、白い砂浜は最高です。最後はやっぱりグルメ。福岡は美味しいものがたくさんあります。ラーメン好きの私は博多ラーメンをハシゴしたい！父はチャンポン、もつ鍋そして博多と言え、やはり明太子です。明太子は韓国というキムチのように毎回の食卓に出ています。そして忘れられないのが焼肉です。

(国立 田中 英一)

全国に誇る福岡のモツ鍋

3・30(日)分会総会

【新年度資格確認書・受診券交付会】

分会	会場	開会
人見	紅葉丘文化センター	10時
鶴代	白糸台文化センター	10時
日吉	是政南町公会堂	10時
いちよう	支部会館	10時
北美	第11美好町住宅集会所	9時30分
中河原	日新町東自治会館	10時
国立	富士見台第3団地集会所	10時

※詳細は各分会から送られるハガキをご参照下さい。
※4月分までの組合費国保料の納入が無い場合は新年度の保険証は交付されません。

支部休館日
4月2日(水) 午後
4月21日(月) 終日

無料法律相談
3月25日(火)
13:30~支部会館
※事前の電話予約が必要です

～締切目前～
新入学祝い金

【申請対象】
2024年度に小中学校に入学した子がいる組合員

【必要書類】
親子関係がわかる書類
※「子の健康保険証」「住民票」「戸籍謄本」など

【申請期日】
3月21日(金) 午前中

【こども食堂】
毎月第4土曜日に開催
※食材寄付もカンパも大募集中!